

卒業生への餞のことば（式辞より一部抜粋）

一つ目は『志を持つ』ということです。

本校の校訓に「立志 琢磨 愛郷」とあります。しっかりと志を持って歩んで欲しいと願っています。現在の社会は、目まぐるしい変化を遂げています。情報通信機器の目覚ましい発達や、自動運転の車が道を走る時代になってきています。十年、二十年後には、今はない新しい職業がたくさんできると言われています。同時に、AI、人工頭脳の進歩により、今ある職業のいくつかはなくなるとも言われています。このような激しい社会の変化は、今後の、さらなる科学の発達にともない、その変化も加速度的に早くなっていくのではないかと思います。そのような時代を生きていく皆さんには、その社会や時代に、翻弄されることなく、自分の生き方をしっかりと持って生きていく人になってほしいと願っています。そのために必要なことが、自分の志を持つことだと思います。志を実現していくためには、大変な努力が必要だと思います。回り道をすることや道に迷うこともあるでしょう。しかし、自分の志を見失うことなく、地道に努力を重ねていけば、必ず道は開けます。志が実現できた人は、次の志を持ってください。二つ目、三つ目と志を持ち追いつけてください。人は、一生努力し学び続けることが大切だと思います。努力を重ね学び続けるその過程が自分自身を成長させてくれるのです。

二つ目は『人を大切にすること』ということです。

人を大切にすることとは、自分を支えてくれている多くの人がいることに目を向け、自分の周りにはいる人や、自分と関係する人に対して、いつも敬意と感謝の気持ちを持って接することです。

社会や時代がどう変化しようとも、どれだけ科学が発達しても、世の中は、結局、人と人の結びつきなのです。社会は人と人のコミュニケーションで成り立っているのです。人を大切にできる人は、人からも大切にされる存在になれると思います。人は決して一人で生きているわけではありません。いつでも、どんなときでも、必ずあなたを支えている人たちがいます。あなたを必要としている人たちも必ずいます。そこに目を向けることを、決して忘れないでください。「志を持つ」「人を大切にすること」、この二つを餞の言葉とします。